

活用事例

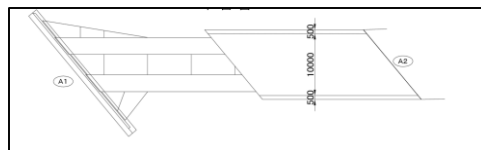
- 橋長：47m 幅員：10m
- 橋梁形式：単純鋼溶接非合成箱桁橋
- 対象部位・部材：床版(上面)
- 性能カタログ(又はNETIS)番号
:BR020010-V0020

☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



位置図及び平面図



○点検支援技術の効果

- ・通行規制の必要がないため、効率的な点検が可能。
- ・AI判定により個人誤差を回避できる。
- ・床板損傷(調査結果)と舗装変状との連動を取る事ができる。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・実物大供試体の実証により判定技術が確立している。
- ・RTK-GNSSの実装により測定位置の精度を確保している。
- ・AI判定した損傷箇所を詳細解析し、損傷度合いを分類することが可能。

○使用時の留意事項

- ・降水・滞水時は測定不可。
- ・補修跡を損傷と検出する場合がある。
- ・金属系補強板を損傷と検出する場合がある。



写真-1 点検状況(斜め後方)



写真-2 点検状況(側方)



写真-3 点検状況(前方)

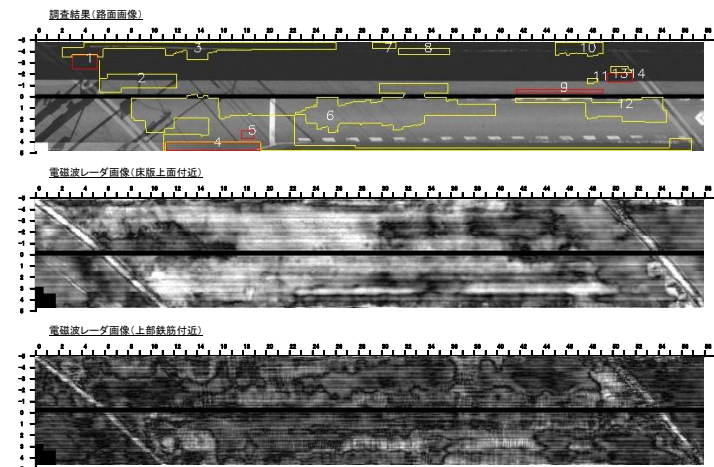
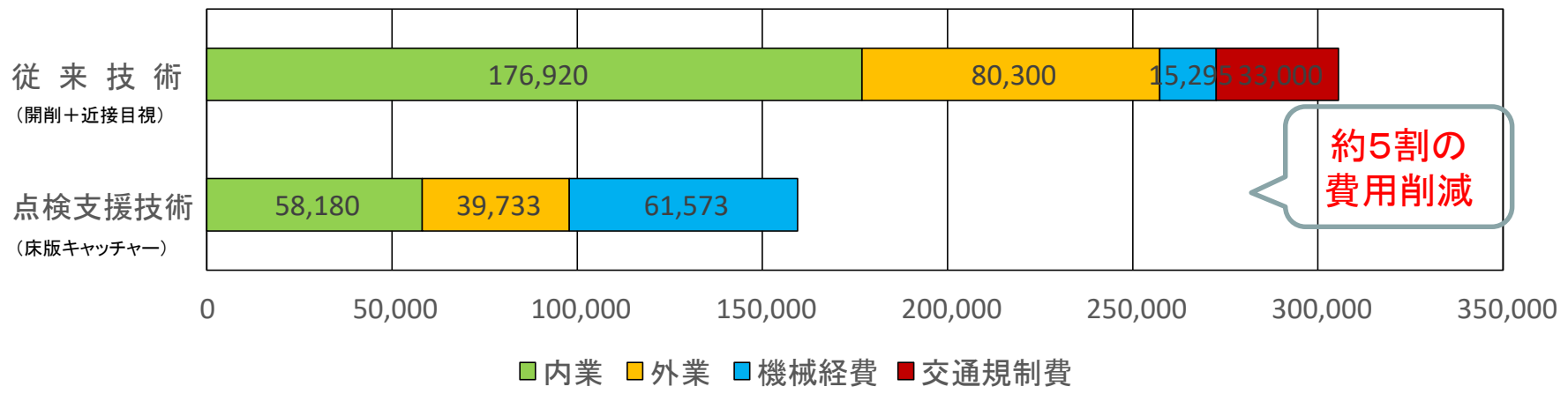


写真-4 点検結果

コスト比較

比較条件: 床版上面を点検した場合のコスト比較。
評価: 従来技術(開削+近接目視)と比べ、内業及び交通規制費用のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	開削+近接目視	測定車走行
内業	調書作成	AI判定
(その他比較)	徒歩	床版キャッチャー
合計金額	306千円	159千円
工程	2.0日	1.3日 (外業0.3日+内業1.0日)

- 諸条件
- 橋面積: 470m2
 - 天候: 晴れまたは曇り
 - 対象部位: 床版(上面)
 - 点検時間: 9:00~17:00
 - たたき落とし作業: 対象外
 - 積算: 業者見積もり(R3.8)
 - 前回の健全度: II 判定
 - その他: 判定は床版上面のみ

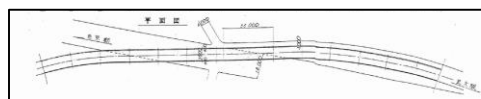
活用事例

- 橋長：276.85m 幅員：8.3m
- 橋梁形式：単純合成ポステンT桁橋6連、単純合成鉄桁橋、単純合成ポステンT桁橋6連
- 対象部位・部材：床版(上面)
- 性能カタログ(又はNETIS)番号
: BR020010-V0020
☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



位置図及び平面図



○点検支援技術の効果

- ・通行規制の必要がないため、効率的な点検が可能。
- ・AI判定により個人誤差を回避できる。
- ・床板損傷(調査結果)と舗装変状との連動を取る事ができる。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・実物大供試体の実証により判定技術が確立している。
- ・RTK-GNSSの実装により測定位置の精度を確保している。
- ・AI判定した損傷箇所を詳細解析し、損傷度合いを分類することが可能。

○使用時の留意事項

- ・降水・滞水時は測定不可。
- ・補修跡を損傷と検出する場合がある。
- ・金属系補強板を損傷と検出する場合がある。



写真-1 点検状況(斜め後方)



写真-2 点検状況(前方)

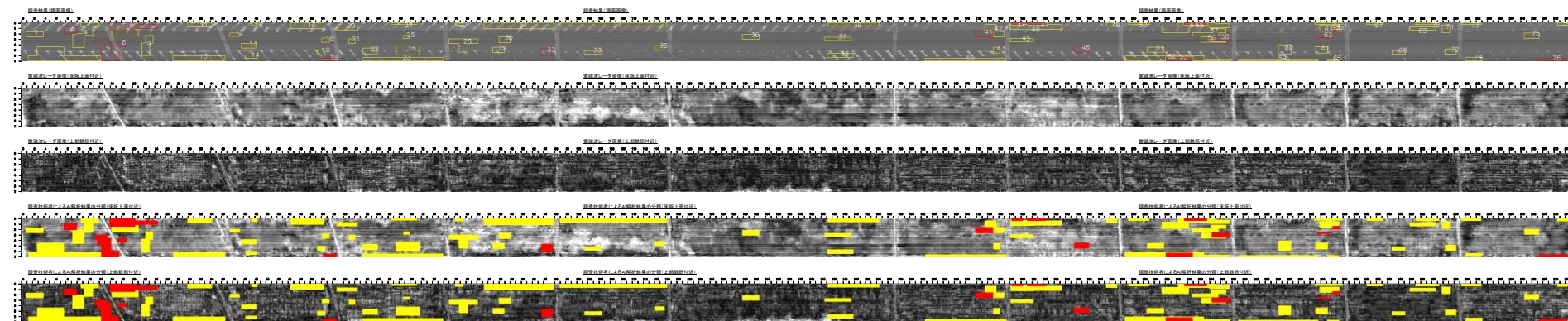
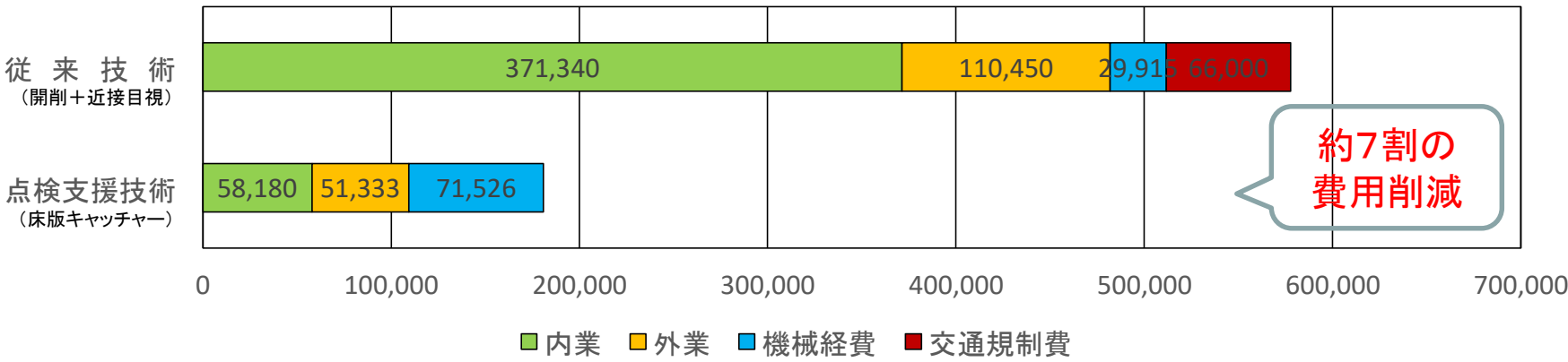


写真-3 点検結果

コスト比較

比較条件: 床版上面を点検した場合のコスト比較。
評価: 従来技術(開削+近接目視)と比べ、内業及び交通規制費用のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	開削+近接目視	測定車走行
内業	調書作成	AI判定
(その他比較)	徒歩	床版キャッチャー
合計金額	578千円	181千円
工程	2.0日	1.3日 (外業0.3日+内業1.0日)

○諸条件
橋面積: 2,298m2
天候: 晴れまたは曇り
対象部位: 床版(上面)
点検時間: 9:00~17:00
たたき落とし作業: 対象外
積算: 業者見積もり(R3.8)
前回の健全度: II 判定
その他: 判定は床版上面のみ

活用事例

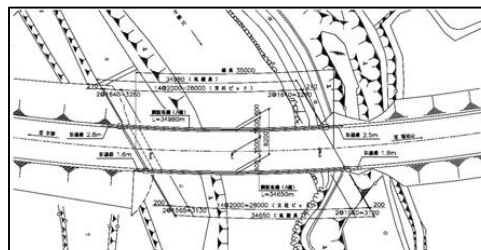
- 橋長：35m 幅員：7m
- 橋梁形式：単純合成鋼桁橋
- 対象部位・部材：床版(上面)
- 性能カタログ(又はNETIS)番号
:BR020010-V0020

☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



位置図及び平面図



○点検支援技術の効果

- ・通行規制の必要がないため、効率的な点検が可能。
- ・AI判定により個人誤差を回避できる。
- ・床板損傷(調査結果)と舗装変状との連動を取る事ができる。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・実物大供試体の実証により判定技術が確立している。
- ・RTK-GNSSの実装により測定位置の精度を確保している。
- ・AI判定した損傷箇所を詳細解析し、損傷度合いを分類することが可能。

○使用時の留意事項

- ・降水・滞水時は測定不可。
- ・補修跡を損傷と検出する場合がある。
- ・金属系補強板を損傷と検出する場合がある。



写真-1 点検状況(斜め後方)



写真-2 点検状況(側方)



写真-3 点検状況(前方)

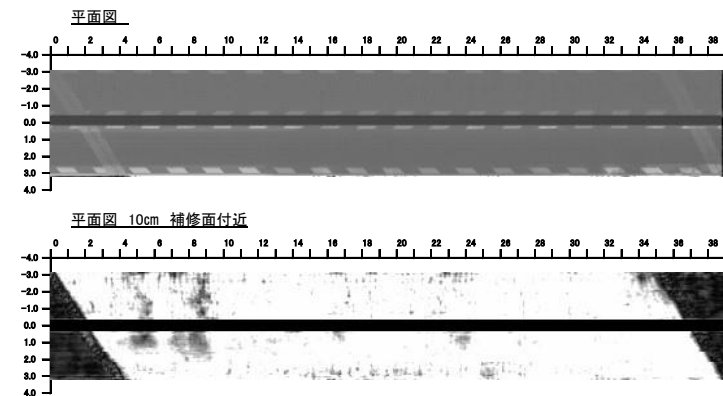
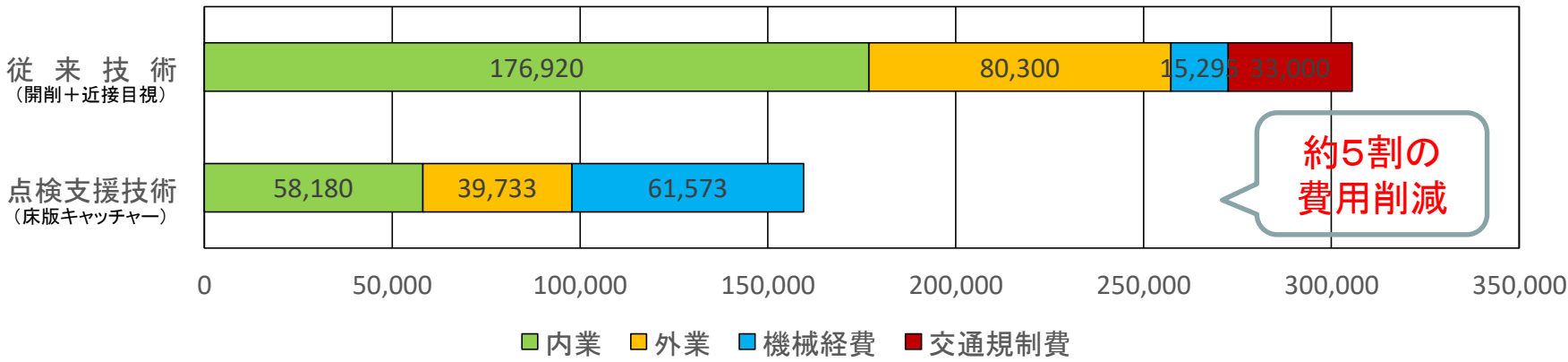


写真-4 点検結果

コスト比較

比較条件: 床版上面を点検した場合のコスト比較。
評価: 従来技術(開削+近接目視)と比べ、内業及び交通規制費用のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	開削+近接目視	測定車走行
内業	調書作成	AI判定
(その他比較)	徒歩	床版キャッチャー
合計金額	306千円	159千円
工程	2.0日	1.3日 (外業0.3日+内業1.0日)

- 諸条件
- 橋面積: 245m²
 - 天候: 晴れまたは曇り
 - 対象部位: 床版(上面)
 - 点検時間: 9:00~17:00
 - たたき落とし作業: 対象外
 - 積算: 業者見積もり(R3.8)
 - 前回の健全度: Ⅲ判定(補修実施済み)
 - その他: 判定は床版上面のみ

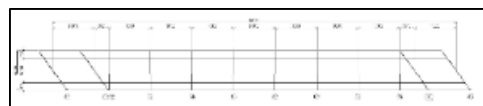
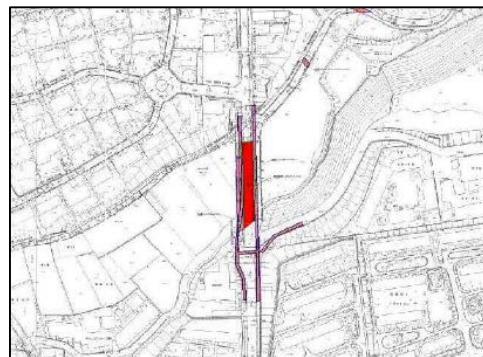
活用事例

- 橋長 : 97m 幅員 : 9.6m
 - 橋梁形式 : 11径間PCプレテン単純床版橋
 - 対象部位・部材 : 床版(上面)
 - 性能カタログ(又はNETIS)番号 : BR020010-V0020
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



位置図及び平面図



○点検支援技術の効果

- ・通行規制の必要がないため、効率的な点検が可能。
- ・AI判定により個人誤差を回避できる。
- ・床板損傷(調査結果)と舗装変状との連動を取る事ができる。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・実物大供試体の実証により判定技術が確立している。
- ・RTK-GNSSの実装により測定位置の精度を確保している。
- ・AI判定した損傷箇所を詳細解析し、損傷度合いを分類することが可能。

○使用時の留意事項

- ・降水・滞水時は測定不可。
- ・補修跡を損傷と検出する場合がある。
- ・金属系補強板を損傷と検出する場合がある。



写真-1 点検状況(後方)



写真-2 点検状況(前方)

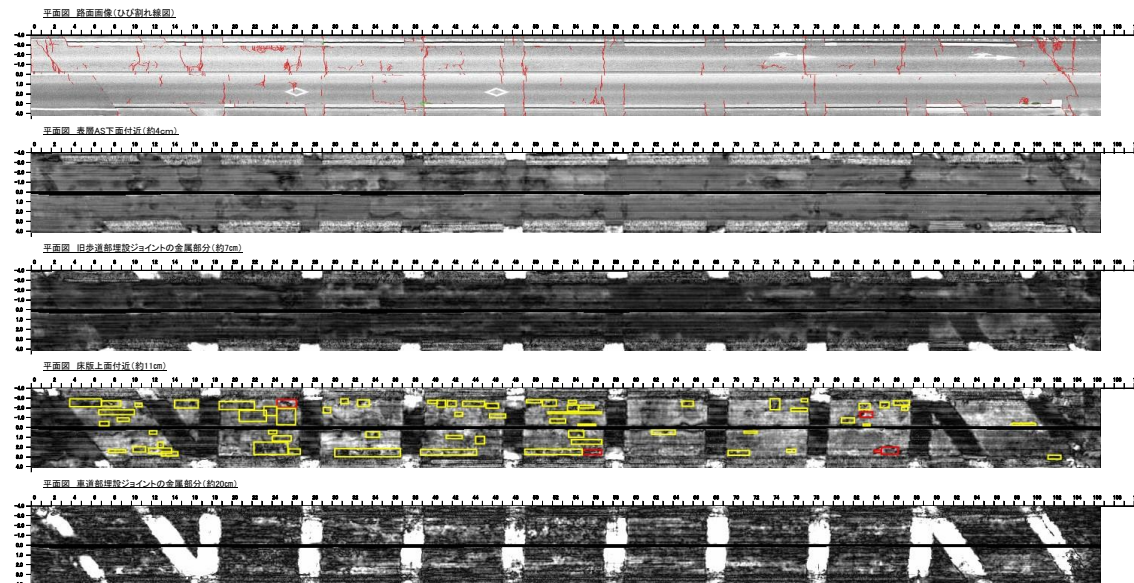
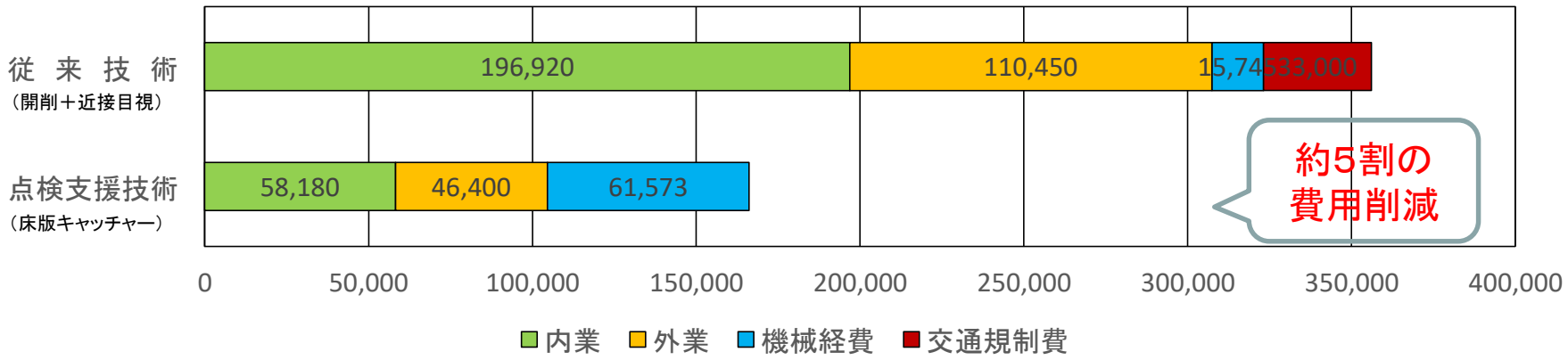


写真-3 点検結果

コスト比較

比較条件: 床版上面を点検した場合のコスト比較。
評価: 従来技術(開削+近接目視)と比べ、内業及び交通規制費用のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	開削+近接目視	測定車走行
内業	調書作成	AI判定
(その他比較)	徒歩	床版キャッチャー
合計金額	356千円	166千円
工程	2.0日	1.3日 (外業0.3日+内業1.0日)

○諸条件
橋面積: 931m²
天候: 晴れまたは曇り
対象部位: 床版(上面)
点検時間: 9:00~17:00
たたき落とし作業: 対象外
積算: 業者見積もり(R3.8)
その他: 判定は床版上面のみ
地方公共団体管理橋梁